

# ガス貯湯湯沸器 取扱説明書

商品コード
33-715型(左配管用)
33-716型(右配管用)

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス貯湯湯沸器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

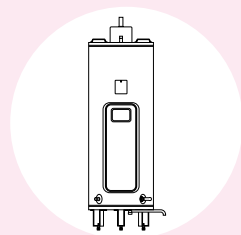
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

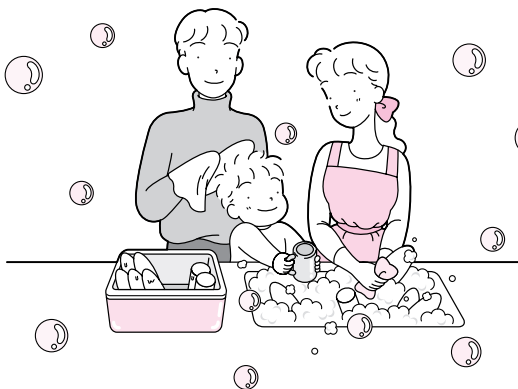
別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型式名	YK1901S
-----	---------

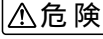

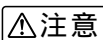


## 特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。  
危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。  
(例：ガス漏れのおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味	絵表示	意味
	特定しない一般的な危険・警告・注意		特定しない一般的な禁止
	感電注意		火気禁止
	高温注意		接触禁止
	発火注意		ぬれ手禁止
	必ず行う		分解禁止
	アース必要		

特に注意していただきたいこと・・・1~5

### 1. 使用前に

- 安全装置について・・・・・・・・・・ 6
- 各部のなまえとはたらき・・・・・・ 7~8
  - ・機器本体・・・・・・・・・・・・・ 7
  - ・操作パネル部・・・・・・・・・・・・・ 8

### 2. 使いかた

- 使いかた・・・・・・・・・・・・・・ 9~12
  - ・運転前の準備と確認・・・・・・・・・・ 9
  - ・運転と停止・・・・・・・・・・・・・・ 9~10
  - ・沸き上がり時間について・・・・・・・・ 10
  - ・お湯の出しかた・・・・・・・・・・・・ 11
  - ・湯はりをする場合・・・・・・・・・・・・ 11
  - ・タイマー設定のしかた・・・・・・・・・・ 12
- 凍結予防のしかた・・・・・・・・・・・・ 13

### 3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・ 14
  - ・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - ・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 故障かな？と思ったら・・・・・・ 15~16
  - ・異常報知(警報モニター)のない場合・・ 15
  - ・異常報知(警報モニター)のある場合・・ 16
- アフターサービス・・・・・・・・・・・・ 17
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

# 危険

## ガス漏れ時の処置

- ① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。  
(周辺の電話を使用しない。)

- 上記①～③の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

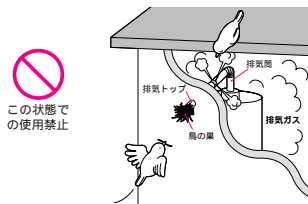


## 排気トップ・排気筒の点検について

- 排気トップ・排気筒は定期点検をする。
- ① 排気筒がはずれていないか。
- ② 排気トップが詰まっていないか。(鳥の巣・すずなど)
- ③ 排気筒がふさがれていないか。
- 上記①～③の状態での使用禁止

室内に排気が漏れて一酸化炭素中毒のおそれがあります。

わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



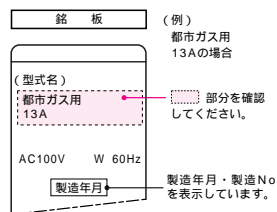
# 警告

## 使用ガス・電源について

- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示しているガスの種類(ガスグループ)を使用する。

表示以外のガスで使用すると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。

- 電源はAC100V・60Hzを使用します。  
他の電源で使用すると火災や感電などのおそれがあります。
- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。



わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



確認

# 警告

## やけどに注意

- お湯を使用される場合は、混合水栓の給水栓を開けてから給湯栓を開け、温度調節する。



- シャワーなどお湯を使用する場合は、まず手のひらでお湯の温度を確かめてから使用する。



- 入浴の際は、手でお湯の温度を確かめてから入浴する。

やけどのおそれがあります。



## 機器の設置・移動工事について

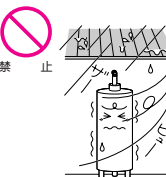
- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。

火災や思わぬ事故の原因になります。

## 屋外設置の禁止

- この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対に設置しない。

炎が風にあおられたり、雨水が機器に侵入したりすることにより火災や故障の原因になります。



## 異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①～③の手順に従ってあわてずみやかに処置し、すぐに買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

- ① 給湯栓を閉じる。
- ② 運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス栓、給水元栓を閉じる。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

## 火災の予防

- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(カーテン・洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。



発火注意

- 機器の周辺でスプレー・ベンジン・ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。



禁止

火災・爆発のおそれがあります。



## 分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器や操作パネル部を分解したり、修理・改造を行わない。異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。

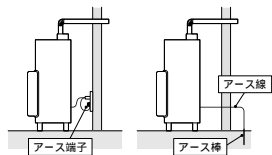


分解禁止

## ⚠ 注意

### アースの確認

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。  
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。

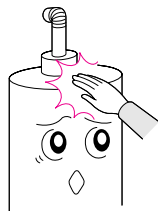


### 用途について

- 給湯、シャワー以外の用途には使用しない。  
思わぬ事故の原因になります。

### やけどに注意

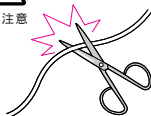
- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。  
やけどのおそれがあります。



### 電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。

感電やショート発火による火災のおそれがあります。



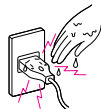
- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。



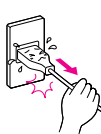
- ぬれた手で電源プラグをさわらない。

感電のおそれがあります。



- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かない。

電源コードが断線し、発熱や発火の原因になります。



- 電源プラグはほこりをふき取る。

発火の原因になります。



## お願い

### 停電時の処置

- 使用中に停電すると自動的にガスが止まり燃焼が停止します。
- 再通電すると自動的に運転します。

停電した時間の分タイマーが遅れるため、再度時間を合わせてください。

### 凍結に注意

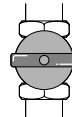
- 冬期は凍結による機器の破損を予防するため、必要な処置を行ってください。  
(13ページ参照)  
凍結すると水漏れや故障の原因になります。

### 市販の補助具について

- この機器指定の別売部品以外は使用しないでください。  
思わぬ事故の原因になります。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

### 長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを予防するためガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。  
(13ページ参照)



### 特監法対象機器です。

- この機器は『特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律』の対象機器です。  
法定の表示ラベルが所定の位置に貼り付けてあることを確認してください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内番及び 施工年月日	年 月 日



### 日常の点検・お手入れについて

- お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。  
(14ページ参照)
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。  
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応して青く変色することがあります。

### 積雪時における注意

- 積雪時には排気トップの点検、除雪を行ってください。  
排気トップがふさがれると不完全燃焼の原因になります。
- 積雪や屋根からの落雪により排気トップが倒れたり、傾いたりしている場合は、落雪対策が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

## お願い

### 機器の周囲について

- 機器の周囲に犬などのペットをつながないでください。  
ペットの毛などが機器内に詰まり、不完全燃焼の原因になります。

### 断水時の処置

- 断水時は給湯栓を閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、9ページからの『使いかた』に従って操作してください。

### この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

### 点火の確認

- 運転スイッチを「入」にした後、燃焼ランプが点灯していることを確認してください。
- タンク内の湯温が設定温度より低く、24時間タイマーのマニュアルスイッチが「ON」状態（「AUTO」の場合は設定子がON状態）であれば約20分後に点灯します。

### 操作パネル部について

- 操作パネル部は子どもがいたずらしないよう注意してください。
- 操作パネル部には水をかけないでください。故障の原因になります。

### 飲用に使用するとき

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水として使用してください。その後、飲用や調理用で使用してください。

### 排気ガスについて

- 増改築などにより、排気ガスが直接建物の外壁や窓（線入、網入板ガラス）、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。  
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

### 運転停止時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

### 定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）
- お買い求めの販売店に相談してください。

## 安全装置について

### 安全装置の種類とはたらき

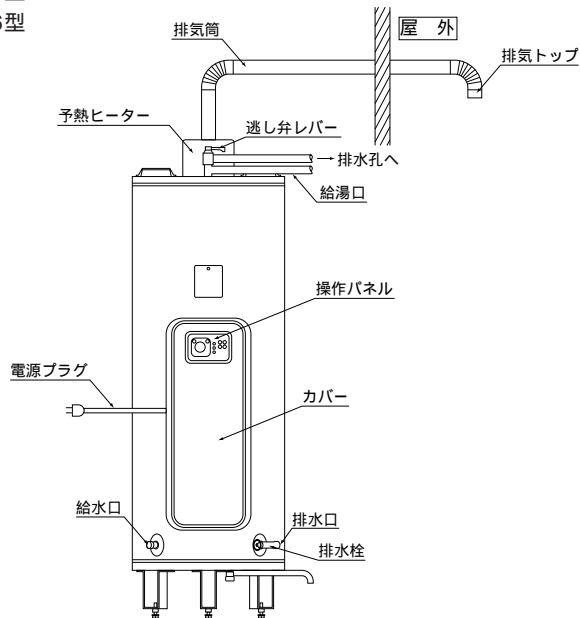
安全装置	作動理由	はたらき（現象）	処置方法
立消え安全装置（熱電対）	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止め、燃焼ランプ（赤）が点滅し、警報ブザーを鳴らします。	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が全開であることを確認した後、再度運転スイッチを「入」にしてください。
過熱防止装置（ハイリミット）	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止め、沸上りランプ（黄）が点滅し、警報ブザーを鳴らします。	すぐに使用をやめてガス栓を閉じ、運転スイッチを「切」にした後、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
ファン風量感知安全装置（風量スイッチ）	使用中にファンが回らないとき	沸上りランプ（黄）が点滅し、警報ブザーを鳴らします。	
電源ヒューズ	使用中に過電流が流れたとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差ししてから使用してください。
COセンサー（一酸化炭素濃度検出装置）	異常燃焼が発生したとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を閉じ、（機器脚部の排水ホース）から水が出ていることを確認した後、給水元栓、ガス栓を閉じ、運転スイッチを「切」にしてから、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 電源プラグをコンセントから抜くと警報ブザーは鳴りやみます。
漏電遮断器	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	
漏水センサー	機器内の水が漏れたとき	警報ブザーを鳴らします。	

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

# 各部のなまえとはたらき

## 機器本体

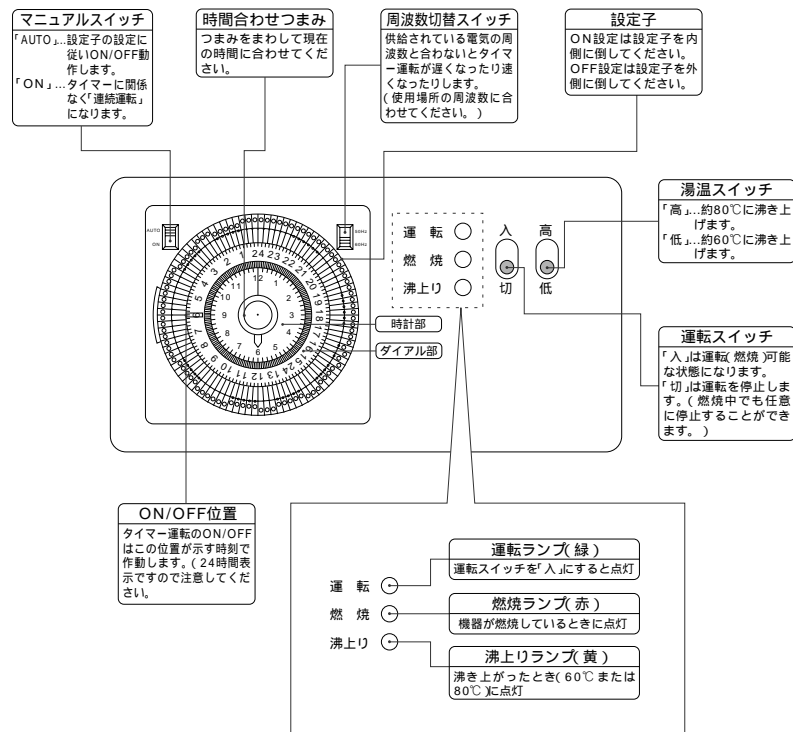
33-715型  
33-716型



## 特長

- 1 強制排気式で工事も簡単**  
給気口面積は10cm<sup>2</sup>以上、排気は 34mm の排気筒を接続するだけです。
- 2 タイマー内蔵**  
24時間タイマーで運転時間を設定することができます。
- 3 貯湯量はたっぷり193ℓ**  
同時使用や、大量給湯にも安定した湯量が得られます。

## 操作パネル部



# 使いかた

## 運転前の準備と確認

- 1 排水栓の閉栓  
排水栓を閉じる。



- 2 給水元栓の開栓  
給水元栓を全開にする。



- 3 出水の確認(タンク内の水の確認)  
台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。出水の確認後は給湯栓を閉じる。



- 4 ガス栓の全開  
ガス栓を全開にする。



- 5 電源の投入  
電源プラグをコンセントに差し込む。



- 6 マニュアルスイッチの設定  
連続運転は「ON」にする。  
タイマー運転は「AUTO」にする。



### 注意

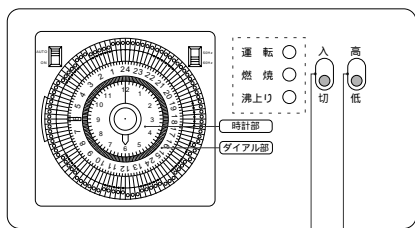
ぬれた手で電源プラグをさわらない。  
感電のおそれがあります。



タイマー設定については12ページの「タイマー設定のしかた」を参照してください。

## 運転と停止

### 《操作パネル》



運転スイッチ  
湯温スイッチ

### 1 点火

- 操作パネルの運転スイッチを「入」にする。タンク内の湯温が設定温度より低く、24時間タイマーのマニュアルスイッチが「ON」状態(「AUTO」の場合は設定子がON状態)であればファンが回り点火動作に入ります。



警報ブザーが鳴り、燃焼ランプ(赤)が点滅した場合は、運転スイッチを「切」にし、ガス栓が全開であることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。



## 沸き上がり時間について

季節	水温	湯温スイッチ「高」 (約80℃)のとき	湯温スイッチ「低」 (約60℃)のとき
冬期	5℃	約3時間10分	約2時間25分
夏期	25℃	約2時間25分	約1時間40分

- 来客があったときなどで浴そうのはりかえなどをする場合はお湯が不足することがあります。そのときは給湯栓を閉じてタンク内のお湯が沸き上がるまでお待ちください。(上表参照)  
(この場合24時間タイマーのマニュアルスイッチが「AUTO」の場合は「ON」にしてください。タイマーに関係なく連続運転を行います。)

### 2 タンク内の湯温設定

- 操作パネルの湯温スイッチを設定する。

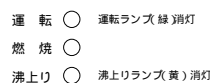


### 3 消火

- タンク内の湯温が設定温度になった場合、自動的に消火します。  
タンク内の湯温を一定に保つため、点火・消火を繰り返します。タイマー設定(マニュアルスイッチ「AUTO」)をしている場合は、設定子が「ON」の状態のときに点火・消火を繰り返します。

### 4 運転の停止

- 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。



# 使いかた

## お湯の出しかた

### △警告

- 給湯およびシャワーを2箇所使用するとき、湯温の変化に気をつける。  
やけどのおそれがあります。

2箇所で同時に使用すると、湯量が変わし、お湯があつくなったり、ぬるくなったりすることがあるため特にシャワー使用時は注意してください。

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。  
やけどのおそれがあります。



確認



①～③の手順で行ってください。

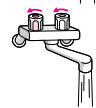
①給水栓・給湯栓を開ける。



### △警告

- 混合水栓の給水栓を開けてから、給湯栓を開ける。  
やけどのおそれがあります。

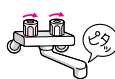
②温度調節する。



- 給湯栓・給水栓で好みの温度に調節してください。

湯温スイッチが「高」の場合...80℃  
湯温スイッチが「低」の場合...60℃

③給湯栓・給水栓を閉じる。



## 湯はりをする場合

### △警告

- 入浴の際は、手で湯の温度を確かめてから入浴する。



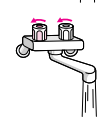
確認

①給水栓・給湯栓を開ける。



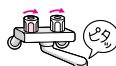
②温度調節する。

給湯栓・給水栓で好みの湯はり温度に調節する。



湯はり中に湯温度が変わる場合があるため、ときどき温度を確かめて調節してください。

③給湯栓・給水栓を閉じる。



湯はりに前...



排水栓を閉じる

湯はりに後...



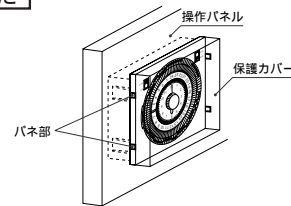
ふたをする

## タイマー設定のしかた

タイマー設定は運転前に行ってください。

### 保護カバーの取りはずしかた・取り付けかた

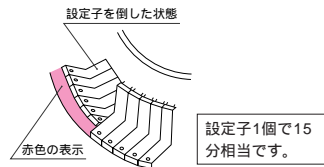
- 取りはずしかた  
保護カバーの左端または、右端の上下を持って取りはずしてください。
- 取り付けかた  
保護カバーのパネ部を操作パネルの両側の凹部に入れて取り付けてください。



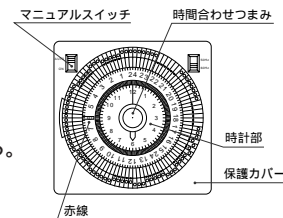
①～⑤の手順で行ってください。

①保護カバーを取りはずす。(上記参照)

- ②時間帯を設定する。  
希望する時間帯の設定子を内側へ倒してください。(ON設定)  
周囲に赤色の表示が出たら設定された状態です。24時間表示ですので注意してください。



- ③現在時間を設定する。  
時間合わせつまみを時計方向に回し、現在時間に合わせてください。(午前と午後がありますので赤線で確認してください。)

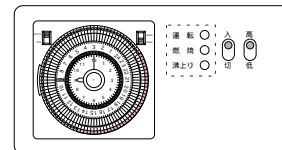


④マニュアルスイッチを「AUTO」の位置にする。

⑤保護カバーを取り付ける。(上記参照)

### 《タイマー設定の例》

- マニュアルスイッチ..... AUTO
- 現在時間..... 9:00
- 設定時間帯・ 14:00～23:00
- 湯温スイッチ..... 高
- 周波数..... 60Hz



冬期においても午後6時には80℃に沸き上がります。その後、入浴などでお湯を使用しても午後11時までは80℃に保ちます。



# 凍結予防のしかた

冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

## 通水による方法 (通常の寒さのとき)

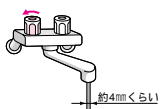
- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。



- 3 ガス栓を閉じる。



- 4 給湯栓より水を少量流す。(1分間に約400cc...太さ約4mm)



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水・給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

## 再度使用する場合

必ず排水栓および、すべての給湯栓を閉じてから9ページからの「使いかた」に従って使用する。沸き上がるまで時間がかかるため、注意してください。(P10参照)

## 貯湯タンク内の水を抜く方法 (長期間使用しないときや冷え込みが厳しいとき)

### △注意

- タンク内のお湯が高温になっている場合がありますので、十分に注意して水抜きを行ってください。  
やけどのおそれがあります。

- 1 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。

- 2 ガス栓を閉じる。

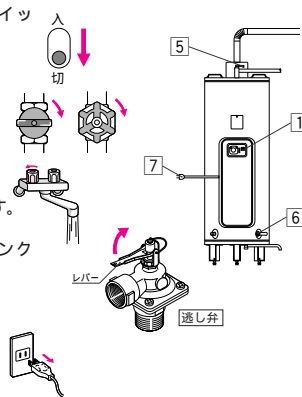
- 3 給水元栓を閉じる。

- 4 すべての給湯栓を全開にする。

- 5 逃し弁レバーを起こす。

- 6 排水栓を開けし、タンク内の水を排水する。

- 7 電源プラグを抜く。



再び使用するまでそのままにしておく。

給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

## もし凍結して水がでないとき

- 1 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用する。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

# 点検・お手入れ

点検・お手入れの前には運転スイッチを「切」にした後、機器が完全に冷えてから行ってください。

## 点検

点検箇所	点検のしかた	処置
逃し弁	燃焼していない状態で、逃し弁の先端から水漏れしていませんか？(燃焼中の水漏れは異常ではありません。)	水漏れしているときは、逃し弁レバーの閉閉を数回繰り返して、付着した異物を取り除きます。それでも水漏れるときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

## お手入れ(月に1回程度)

### △注意

- タンク内のお湯が高温になっているため、タンク内の水が完全に冷えてから水抜きを行ってください。  
やけどのおそれがあります。

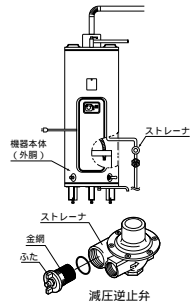
タンク内の水抜きをしてください。水を抜くことでタンク内の沈殿物(ゴミやさび)を流し出します。水を抜く方法は13ページの「凍結予防のしかた」を参照してください。

## ストレートナ

給水元栓を開め、ストレートナのふたを開けて中の金網のまわりについているゴミや砂などを洗い流します。掃除が終了したら、ストレートナのふたは必ず元どりに閉じてください。

## 機器本体

乾いた布でよくふきとってください。汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を含ませた布でふき取った後、乾いた布で水気をふき取ってください。



## 再度使用する場合

- 1 排水栓を閉じてから給水元栓を開き、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 2 必ずすべての給湯栓を閉じてから、9ページからの「使いかた」に従って使用する。

## 定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2~3年に1回程度(業務用なら1年に1回)の定期点検をおすすめします。(有料)  
お買い求めの販売店に相談してください。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

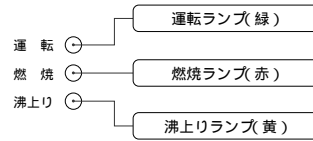
## 異常報知(警報モニター)のない場合

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●運転スイッチを「入」にしても運転ランプが点灯しない。	●停電していませんか？ ●電源プラグが抜けていませんか？ ●漏電遮断器が作動していませんか？	4 9 6
●水が出ない。	●断水していませんか？ ●給水元栓が全開になっていますか？ ●凍結していませんか？	5 9 13
●お湯が出ない。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●停電していませんか？ ●電源プラグが抜けていませんか？ ●漏電遮断器が作動していませんか？	9 4 9 6
●タイマー設定した通りに作動しない。	●停電していませんか？ ●マニュアルスイッチを「AUTO」にしていますか？ ●時計部は現在時間と合っていますか？	4 12 12
●運転がいつの間にか止まった。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●停電していませんか？ ●電源プラグが抜けていませんか？	9 4 9
●沸き上がりがおそい。	●ガス栓が全開になっていますか？	9
●湯の出がわるい。	●給水元栓が全開になっていますか？ ●ストレーナがつまっていますか？	9 14
●ガスのにおいがする。 ●いやなにおいがする。	ただちに使うのをやめ、ガス栓を閉じてから原因を調べてください。 <b>警告</b> ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などありませんか？ 火災のおそれがあります。	2

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやわからないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。  
不完全な処置は事故のもとになりますので修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。

## 異常報知(警報モニター)のある場合

- 機器に不具合が生じると、下記のランプ点滅回数とブザーでお知らせします。24時間タイマーのマニュアルスイッチが「AUTO」の場合は設定子がOFFであれば点火動作に入りませんので「ON」に切り替えて確認してください。



LED表示	内 容	処 置 方 法
燃焼ランプ(赤)点滅1回+ブザー	点火不良	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプ(赤)点滅2回+ブザー	立消え安全装置作動	1
燃焼ランプ(赤)点滅3回+ブザー	漏水センサー作動	2
燃焼ランプ(赤)点滅4回+ブザー	COセンサー異常	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプ(赤)点滅8回+ブザー	COセンサー作動	
沸上りランプ(黄)点滅1回+ブザー	ハイリミットスイッチ作動	
沸上りランプ(黄)点滅2回+ブザー	風量スイッチの不具合	
沸上りランプ(黄)点滅3回+ブザー	湯温サーミスタの不具合	2
沸上りランプ(黄)点滅4回+ブザー	ヒーターサーミスタの不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
沸上りランプ(黄)点滅5回+ブザー	空だき防止センサー作動	
沸上りランプ(黄)点滅6回+ブザー	ガス電磁弁系統不具合	2
沸上りランプ(黄)点滅7回+ブザー	炎検出系統の不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
沸上りランプ(黄)点滅8回+ブザー	制御回路の不具合	
燃焼・沸上りランプ点滅+ブザー	電装系統の不具合	2
運転・燃焼・沸上りランプ点滅+ブザー	COセンサー作動	2
運転ランプ(緑)点滅4回+ブザー	COセンサーの寿命予告報知	3

1. 給湯栓を閉じ、機器脚部の排水ホースから水が出ていることを確認した後、給水元栓、ガス栓を閉じ運転スイッチを「切」にし電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。(電源プラグを抜くと警報ブザーが鳴り止みます。)
2. すぐに使用をやめてガス栓を閉じ運転スイッチ「切」にしてから、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。(運転スイッチを「切」にするとブザーが鳴り止みます。)
3. COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)の耐用時間を越えた場合に表示します。そのまま使い続けますと使用できなくなりますのでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに修理(有償)を依頼してください。

●処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

# アフターサービス

## サービスのお申し込み

- 15～16ページの「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。  
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガス貯湯沸器
2. 大阪ガス商品コード 例 **(N) 33-715**  
(機器前面右下に貼付の銘板に記載してあります) 大阪ガス株式会社
3. 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
4. ご住所・お名前・電話番号・道順(できるだけ詳しく)

## 転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。

## 保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後7年間です。  
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

# 仕様

品名	ガス湯沸器(貯湯式)		
商品コード	33-715型(左配管用)・33-716型(右配管用)		
型式名	YK1901S		
排气方式	強制排气式		
有効出湯量	167ℓ(出湯速度10ℓ/分)		
貯湯量	193ℓ		
最高使用水頭圧	10mH <sub>2</sub> O		
電熱面積	0.208m <sup>2</sup>		
減圧弁の設定圧	63.8kPa(0.65kg/cm <sup>2</sup> )		
逃し弁の吹出し圧	98.1kPa(1.0kg/cm <sup>2</sup> )		
外形寸法	高さ1,884mm×幅575mm×奥行685mm		
質量	68kg(満水時261kg)		
沸き上がり温度	高:80℃、低:60℃		
接続	給水	20A(R3/4)	
	給湯	20A(R3/4)	
	排水	20A(Rc3/4)	
電気	使用電源	AC100V・60Hz	
	消費電力	56W(予熱ヒーター作動時756W)	
	電源コード長さ	2.6m	
安全装置	立消え安全装置(熱電対)・過熱防止装置(ハイリミット)・ファン風量感知安全装置(風量スイッチ)・電源ヒューズ・漏電遮断器・COセンサー		
付属品	取扱説明書・設置・工事説明書・保証書・お問い合わせ先一覧表		

ガスの種類	1時間当りのガス消費量 kW	沸き上がり時間 (水温15℃)		ガス接続	
		最大			
都市ガス	13A	8.14 { 7,000kcal/h }	60℃設定 約2時間00分 (ヒーター作動時間)	80℃設定 約2時間45分 (ヒーター作動時間)	15A(Rc1/2)

# ガス貯湯湯沸器 取扱説明書

商品コード
33-717型(左配管用)
33-718型(右配管用)

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス貯湯湯沸器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

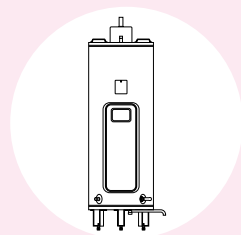
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

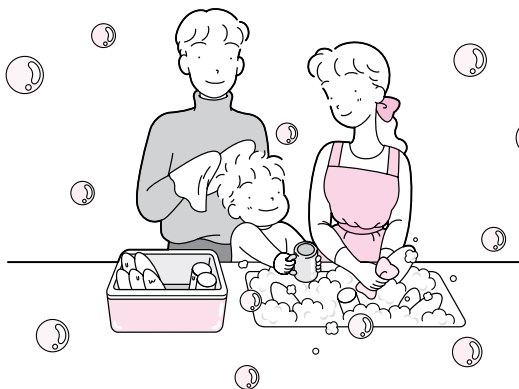
別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型式名	YK1902
-----	--------






## 特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。  
危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。  
(例：ガス漏れのおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味	絵表示	意味
	特定しない一般的な危険・警告・注意		特定しない一般的な禁止
	感電注意		火気禁止
	高温注意		接触禁止
	発火注意		ぬれ手禁止
	必ず行う		分解禁止
	アース必要		

### 特に注意していただきたいこと・・・1~5

#### 1. 使用前に

- 安全装置について・・・・・・・・・・ 6
- 各部のなまえとはたらき・・・・・・ 7~8
  - ・機器本体・・・・・・・・・・・・・ 7
  - ・操作パネル部・・・・・・・・・・・・・ 8

#### 2. 使いかた

- 使いかた・・・・・・・・・・・・・・ 9~12
  - ・運転前の準備と確認・・・・・・・・・・ 9
  - ・運転と停止・・・・・・・・・・・・・・ 9~10
  - ・沸き上がり時間について・・・・・・・・ 10
  - ・お湯の出しかた・・・・・・・・・・・・ 11
  - ・湯はりをする場合・・・・・・・・・・・・ 11
  - ・タイマー設定のしかた・・・・・・・・・・ 12
- 凍結予防のしかた・・・・・・・・・・・・ 13

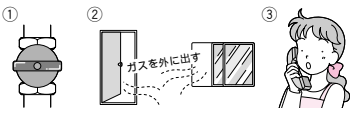
#### 3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・ 14
  - ・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - ・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 故障かな?と思ったら・・・・・・ 15~16
  - ・異常報知(警報モニター)のない場合・・ 15
  - ・異常報知(警報モニター)のある場合・・ 16
- アフターサービス・・・・・・・・・・・・ 17
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

# 危険

## ガス漏れ時の処置

- ① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。  
(周辺の電話を使用しない。)



- 上記①～③の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。

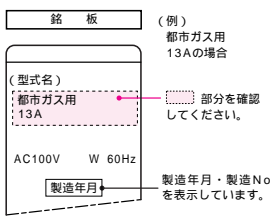
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



# 警告

## 使用ガス・電源について

- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示しているガスの種類(ガスグループ)を使用する。  
表示以外のガスで使用すると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- 電源はAC100V・60Hzを使用します。  
他の電源で使用すると火災や感電などのおそれがあります。
- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。



わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



# 警告

## やけどに注意

- お湯を使用される場合は、混合水栓の給水栓を開けてから給湯栓を開け、温度調節する。
- シャワーなどお湯を使用する場合は、まず手のひらでお湯の温度を確かめてから使用する。
- 入浴の際は、手で湯の温度を確かめてから入浴する。



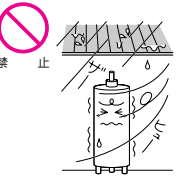
やけどのおそれがあります。

## 機器の設置・移動工事について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。  
火災や思わぬ事故の原因になります。

## 屋外設置の禁止

- この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対に設置しない。  
炎が風にあおられたり、雨水が機器に侵入したりすることにより火災や故障の原因になります。



## 異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①～③の手順に従ってあわてずみやかに処置し、すぐに買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。
  - ① 給湯栓を閉じる。
  - ② 運転スイッチを「切」にする。
  - ③ ガス栓、給水元栓を閉じる。
- 火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

## 火災の予防

- 機器の周辺や排気出口周辺に燃えやすい物(カーテン・洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。
  - 機器の周辺でスプレー・ベンジン・ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。
- 火災・爆発のおそれがあります。



発火注意



禁止

## 分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器や操作パネル部を分解したり、修理・改造を行わない。  
異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。



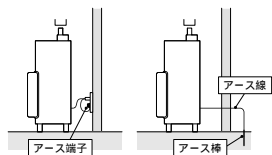
分解禁止

## ⚠ 注意

### アースの確認

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

機器が故障した場合、感電のおそれがあります。

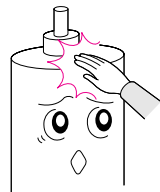


### 用途について

- 給湯、シャワー以外の用途には使用しない。  
思わぬ事故の原因になります。

### やけどに注意

- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。  
やけどのおそれがあります。



### 電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。

感電やショート発火による火災のおそれがあります。



- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。



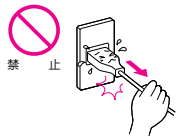
- ぬれた手で電源プラグをさわらない。

感電のおそれがあります。



- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かない。

電源コードが断線し、発熱や発火の原因になります。



- 電源プラグはほこりをふき取る。

発火の原因になります。



## お願い

### 停電時の処置

- 使用中に停電すると自動的にガスが止まり燃焼が停止します。
- 再通電すると自動的に運転します。

停電した時間の分タイマーが遅れるため、再度時間を合わせてください。

### 凍結に注意

- 冬期は凍結による機器の破損を予防するため、必要な処置を行ってください。  
(13ページ参照)

凍結すると水漏れや故障の原因になります。

### 市販の補助具について

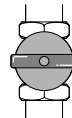
- この機器指定の別売部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故の原因になります。

- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

### 長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを予防するためガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。  
(13ページ参照)



### 日常の点検・お手入れについて

- お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。  
(14ページ参照)

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応して青く変色することがあります。

## お願い

### 機器の周囲について

- 機器の周囲に犬などのペットをつながないでください。  
ペットの毛などが機器内に詰まり、不完全燃焼の原因になります。

### 断水時の処置

- 断水時は給湯栓を閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、9ページからの『使いかた』に従って操作してください。

### この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

### 点火の確認

- 運転スイッチを「入」にした後、燃焼ランプが点灯していることを確認してください。

（タンク内の湯温が設定温度より低く、24時間タイマーのマニュアルスイッチが「ON」状態（「AUTO」の場合は設定子がON状態）であれば約2分30秒後に点灯します。（運転スイッチを入れるタイミングにより短くなる場合があります。）

### 操作パネル部について

- 操作パネル部は子どもがいたずらしないよう注意してください。
- 操作パネル部には水をかけないでください。故障の原因になります。

### 飲用に使用するとき

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水として使用してください。その後、飲用や調理用で使用してください。

### 排気ガスについて

- 増改築などにより、排気ガスが直接建物の外壁や窓（線入、網入板ガラス）、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。  
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

### 運転停止時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

### 定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）

お買い求めの販売店に相談してください。

## 安全装置について

### 安全装置の種類とはたらき

安全装置	作動理由	はたらき（現象）	処置方法
立消え安全装置（熱電対）	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止め、燃焼ランプ（赤）が点滅し、警報ブザーを鳴らします。	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が全開であることを確認した後、再度運転スイッチを「入」にしてください。
過熱防止装置（ハイリミット）	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止め、沸上りランプ（黄）が点滅し、警報ブザーを鳴らします。	すぐに使用をやめてガス栓を閉じ、運転スイッチを「切」にした後、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
ファン風圧感知安全装置（風圧スイッチ）	使用中にファンが回らないとき	沸上りランプ（黄）が点滅し、警報ブザーを鳴らします。	
電源ヒューズ	使用中に過電流が流れたとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差ししてから使用してください。
COセンサー（一酸化炭素濃度検出装置）	異常燃焼が発生したとき	自動的にガスを止めます。	
漏電遮断器	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	給湯栓を閉じ、（機器脚部の排水ホース）から水が出ていることを確認した後、給水元栓、ガス栓を閉じ、運転スイッチを「切」にしてから、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 電源プラグをコンセントから抜くと警報ブザーは鳴りやみます。
漏水センサー	機器内の水が漏れたとき	警報ブザーを鳴らします。	

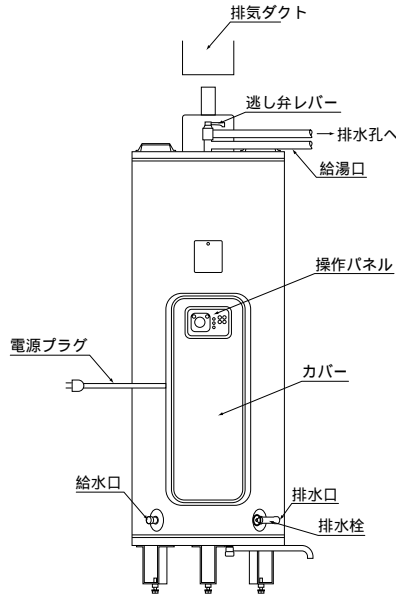
処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



# 各部のなまえとはたらき

## 機器本体

33-717型  
33-718型



## 特長

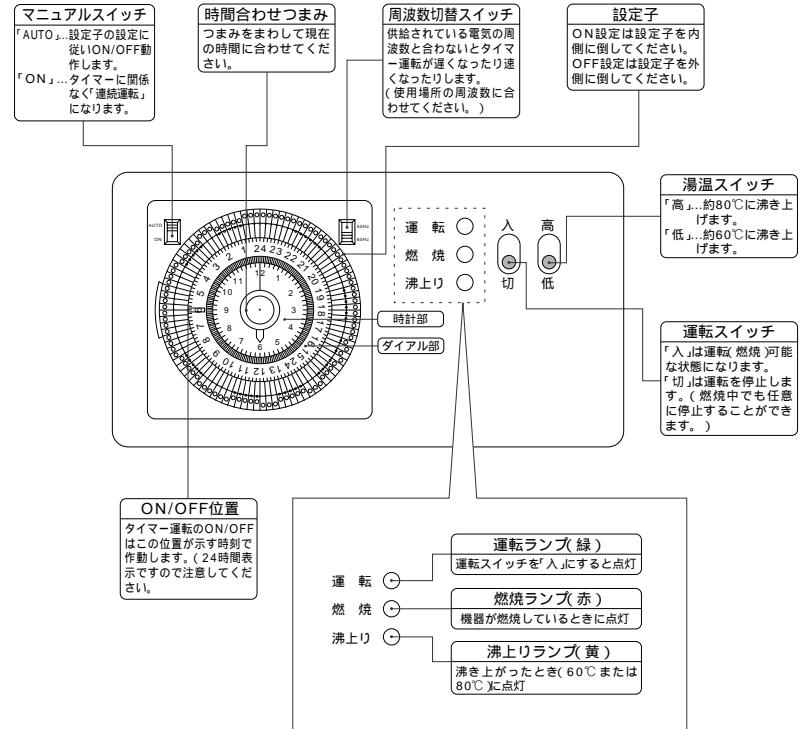
### 1 タイマー内蔵

24時間タイマーで運転時間を設定することができます。

### 2 貯湯量はたっぷり193ℓ

同時使用や、大量給湯にも安定した湯量が得られます。

## 操作パネル部



# 使いかた

## 運転前の準備と確認

- 1 排水栓の閉栓  
排水栓を閉じる。



- 2 給水元栓の開栓  
給水元栓を全開にする。



- 3 出水の確認(タンク内の水の確認)  
台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。出水の確認後は給湯栓を閉じる。



- 4 ガス栓の全開  
ガス栓を全開にする。



- 5 電源の投入  
電源プラグをコンセントに差し込む。



- 6 マニュアルスイッチの設定  
連続運転は「ON」にする。  
タイマー運転は「AUTO」にする。



### 注意

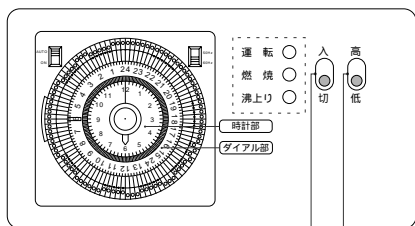
ぬれた手で電源プラグをさわらない。  
感電のおそれがあります。



タイマー設定については12ページの「タイマー設定のしかた」を参照してください。

## 運転と停止

### 《操作パネル》



運転スイッチ  
湯温スイッチ

### 1 点火

- 操作パネルの運転スイッチを「入」にする。タンク内の湯温が設定温度より低く、24時間タイマーのマニュアルスイッチが「ON」状態(「AUTO」の場合は設定子がON状態)であればファンが回り点火動作に入ります。



警報ブザーが鳴り、燃焼ランプ(赤)が点滅した場合は、運転スイッチを「切」にし、ガス栓が全開であることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。



## 沸き上がり時間について

季節	水温	湯温スイッチ「高」 (約80℃)のとき	湯温スイッチ「低」 (約60℃)のとき
冬期	5℃	約4時間5分	約3時間
夏期	25℃	約3時間	約1時間55分

- 来客があったときなどで浴そうのはりかえなどをする場合はお湯が不足することがあります。そのときは給湯栓を閉じてタンク内のお湯が沸き上がるまでお待ちください。(上表参照)(この場合24時間タイマーのマニュアルスイッチが「AUTO」の場合は「ON」にしてください。タイマーに関係なく連続運転を行います。)

### 2 タンク内の湯温設定

- 操作パネルの湯温スイッチを設定する。



### 3 消火

- タンク内の湯温が設定温度になった場合、自動的に消火します。タンク内の湯温を一定に保つため、点火・消火を繰り返します。タイマー設定(マニュアルスイッチ「AUTO」)をしている場合は、設定子が「ON」の状態のときに点火・消火を繰り返します。

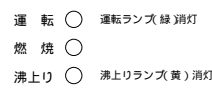


### 4 運転の停止

- 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。



約2分30秒後  
(運転スイッチを入れるタイミングにより短くなる場合があります。)



# 使いかた

## お湯の出しかた

### △警告

- 給湯およびシャワーを2箇所使用するとき、湯温の変化に気をつける。  
やけどのおそれがあります。

2箇所でも同時に使用すると、湯量が変わし、お湯があつくなったり、ぬるくなったりすることがあるため特にシャワー使用時は注意してください。

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。  
やけどのおそれがあります。



確認

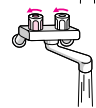


①～③の手順で行ってください。

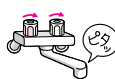
① 給水栓・給湯栓を開ける。



② 温度調節する。



③ 給湯栓・給水栓を閉じる。



### △警告

- 混合水栓の給水栓を開けてから、給湯栓を開ける。  
やけどのおそれがあります。

- 給湯栓・給水栓で好みの温度に調節してください。

湯温スイッチが「高」の場合...80℃  
湯温スイッチが「低」の場合...60℃

- 確実に給湯栓・給水栓を閉じてください。

## 湯はりをする場合

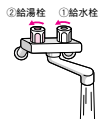
### △警告

- 入浴の際は、手でお湯の温度を確かめてから入浴する。



確認

① 給水栓・給湯栓を開ける。



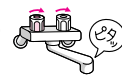
② 温度調節する。

給湯栓・給水栓で好みの湯はり温度に調節する。



湯はり中に湯温度が変わる場合があるため、ときどき温度を確かめて調節してください。

③ 給湯栓・給水栓を閉じる。



湯はりに前...



排水栓を閉じる

湯はりに後...



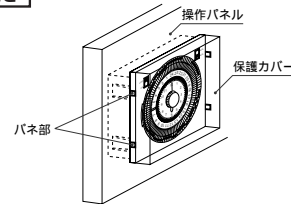
ふたをす

## タイマー設定のしかた

タイマー設定は運転前に行ってください。

### 保護カバーの取りはずしかた・取り付けかた

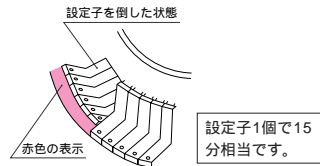
- 取りはずしかた  
保護カバーの左端または、右端の上下を持って取りはずしてください。
- 取り付けかた  
保護カバーのパネ部を操作パネルの両側の凹部に入れて取り付けてください。



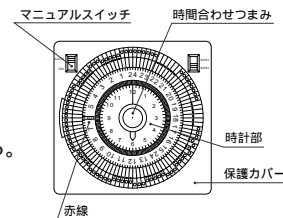
①～⑤の手順で行ってください。

① 保護カバーを取りはずす。(上記参照)

- ② 時間帯を設定する。  
希望する時間帯の設定子を内側へ倒してください。  
(ON設定)  
周囲に赤色の表示が出たら設定された状態です。  
24時間表示ですので注意してください。



- ③ 現在時間を設定する。  
時間合わせつまみを時計方向に回し、現在時間に合わせてください。(午前と午後がありますので赤線で確認してください。)

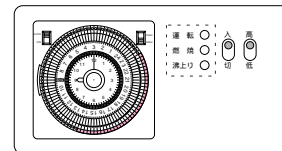


④ マニュアルスイッチを「AUTO」の位置にする。

⑤ 保護カバーを取り付ける。(上記参照)

### 《タイマー設定の例》

- マニュアルスイッチ..... AUTO
- 現在時間..... 9:00
- 設定時間帯..... 14:00～23:00
- 湯温スイッチ..... 高
- 周波数..... 60Hz



冬期においても午後6時には80℃に沸き上がります。その後、入浴などでお湯を使用しても午後11時までは80℃に保ちます。

# 凍結予防のしかた

冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

## 通水による方法 (通常の寒さのとき)

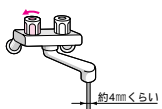
- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。



- 3 ガス栓を閉じる。



- 4 給湯栓より水を少量流す。(1分間に約400cc...太さ約4mm)



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水・給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

## 再度使用する場合

必ず排水栓および、すべての給湯栓を閉じてから9ページからの「使いかた」に従って使用する。沸き上がるまで時間がかかるため、注意してください。(P10参照)

## 貯湯タンク内の水を抜く方法 (長期間使用しないときや冷え込みが厳しいとき)

### △注意

- タンク内のお湯が高温になっている場合がありますので、十分に注意して水抜きを行ってください。  
やけどのおそれがあります。

- 1 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。

- 2 ガス栓を閉じる。

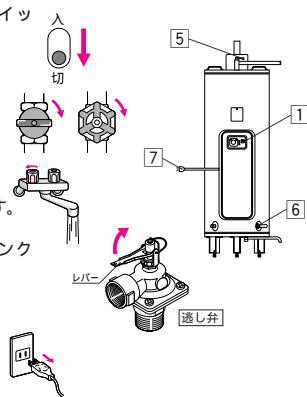
- 3 給水元栓を閉じる。

- 4 すべての給湯栓を全開にする。

- 5 逃し弁レバーを起こす。

- 6 排水栓を開けし、タンク内の水を排水する。

- 7 電源プラグを抜く。



再び使用するまでそのままにしておく。

給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

## もし凍結して水がでないとき

- 1 操作パネルの運転スイッチを「切」にする。
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用する。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

# 点検・お手入れ

点検・お手入れの前には運転スイッチを「切」にした後、機器が完全に冷えてから行ってください。

## 点検

点検箇所	点検のしかた	処置
逃し弁	燃焼していない状態で、逃し弁の先端から水漏れしていませんか？(燃焼中の水漏れは異常ではありません。)	水漏れしているときは、逃し弁レバーの閉閉を数回繰り返して、付着した異物を取り除きます。それでも水漏れるときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

## お手入れ(月に1回程度)

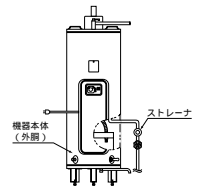
### △注意

- タンク内のお湯が高温になっているため、タンク内の水が完全に冷えてから水抜きを行ってください。  
やけどのおそれがあります。

タンク内の水抜きをしてください。水を抜くことでタンク内の沈殿物(ゴミやさび)を流し出します。水を抜く方法は13ページの「凍結予防のしかた」を参照してください。

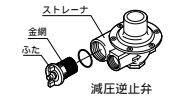
## ストレーナ

給水元栓を開め、ストレーナのふたを開けて中の金網のまわりについているゴミや砂などを洗い流します。掃除が終了したら、ストレーナのふたは必ず元どりに閉じてください。



## 機器本体

乾いた布でよくふきとってください。汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を含ませた布でふき取った後、乾いた布で水気をふき取ってください。



## 再度使用する場合

- 1 排水栓を閉じてから給水元栓を開き、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 2 必ずすべての給湯栓を閉じてから、9ページからの「使いかた」に従って使用する。

## 定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2~3年に1回程度(業務用なら1年に1回)の定期点検をおすすめします。(有料)  
お買い求めの販売店に相談してください。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

## 異常報知(警報モニター)のない場合

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●運転スイッチを「入」にしても運転ランプが点灯しない。	●停電していませんか？ ●電源プラグが抜けていませんか？ ●漏電遮断器が作動していませんか？	4 9 6
●水が出ない。	●断水していませんか？ ●給水元栓が全開になっていますか？ ●凍結していませんか？	5 9 13
●お湯が出ない。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●停電していませんか？ ●電源プラグが抜けていませんか？ ●漏電遮断器が作動していませんか？	9 4 9 6
●タイマー設定した通りに作動しない。	●停電していませんか？ ●マニュアルスイッチを「AUTO」にしていますか？ ●時計部は現在時間と合っていますか？	4 12 12
●運転がいつの間にか止まった。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●停電していませんか？ ●電源プラグが抜けていませんか？	9 4 9
●沸き上がりがおそい。	●ガス栓が全開になっていますか？	9
●湯の出がわるい。	●給水元栓が全開になっていますか？ ●ストレーナがつまっていますか？	9 14
●ガスのにおいがする。 ●いやなにおいがする。	<p>ただちに使うのをやめ、ガス栓を閉じてから原因を調べてください。</p> <p><b>警告</b></p> <p>●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などありませんか？ 火災のおそれがあります。</p>	2

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやわからないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。  
不完全な処置は事故のもとになりますので修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。

## 異常報知(警報モニター)のある場合

- 機器に不具合が生じると、下記のランプ点滅回数とブザーでお知らせします。24時間タイマーのマニュアルスイッチが「AUTO」の場合は設定子がOFFであれば点火動作に入りませんので「ON」に切り替えて確認してください。



LED表示	内 容	処 置 方 法
燃焼ランプ(赤)点滅1回+ブザー	点火不良	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプ(赤)点滅2回+ブザー	立消え安全装置作動	1
燃焼ランプ(赤)点滅3回+ブザー	漏水センサー作動	2
燃焼ランプ(赤)点滅4回+ブザー	COセンサー異常	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプ(赤)点滅8回+ブザー	COセンサー作動	
沸上りランプ(黄)点滅1回+ブザー	ハイリミットスイッチ作動	
沸上りランプ(黄)点滅2回+ブザー	風量スイッチの不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
沸上りランプ(黄)点滅3回+ブザー	湯温サーミスタの不具合	
沸上りランプ(黄)点滅5回+ブザー	空だき防止センサー作動	2
沸上りランプ(黄)点滅6回+ブザー	ガス電磁弁系統不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
沸上りランプ(黄)点滅7回+ブザー	炎検出系統の不具合	
沸上りランプ(黄)点滅8回+ブザー	制御回路の不具合	2
燃焼・沸上りランプ点滅+ブザー	電装系統の不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
運転・燃焼・沸上りランプ点滅+ブザー	COセンサー作動	
運転ランプ(緑)点滅4回+ブザー	COセンサーの寿命予告報知	3

1. 給湯栓を閉じ、機器脚部の排水ホースから水が出ていることを確認した後、給水元栓、ガス栓を閉じ運転スイッチを「切」にし電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。(電源プラグを抜くと警報ブザーが鳴り止みます。)
2. すぐに使用をやめてガス栓を閉じ運転スイッチ「切」にしてから、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。(運転スイッチを「切」にするとブザーが鳴り止みます。)
3. COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)の耐用時間を越えた場合に表示します。そのまま使い続けると使用できなくなりますのでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに修理(有償)を依頼してください。

- 処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

# アフターサービス

## サービスのお申し込み

- 15～16ページの「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。  
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガス貯湯沸器
2. 大阪ガス商品コード 例 **(N) 33-717**  
(機器前面右下に貼付の銘板に記載してあります) 大阪ガス株式会社
3. 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
4. ご住所・お名前・電話番号・道順(できるだけ詳しく)

## 転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。

## 保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後7年間です。  
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

# 仕様

品名	ガス湯沸器(貯湯式)		
商品コード	33-717型(左配管用)・33-718型(右配管用)		
型式名	YK1902		
排气方式	開放式		
有効出湯量	167ℓ(出湯速度10ℓ/分)		
貯湯量	193ℓ		
最高使用水頭圧	10mH <sub>2</sub> O		
電熱面積	0.208m <sup>2</sup>		
減圧弁の設定圧	63.8kPa(0.65kg/cm <sup>2</sup> )		
逃し弁の吹出し圧	98.1kPa(1.0kg/cm <sup>2</sup> )		
外形寸法	高さ1,884mm×幅575mm×奥行685mm		
質量	68kg(満水時261kg)		
沸き上がり温度	高:80℃、低:60℃		
接続	給水	20A(R3/4)	
	給湯	20A(R3/4)	
	排水	20A(Rc3/4)	
電気	使用電源	AC100V・60Hz	
	消費電力	60W	
	電源コード長さ	2.6m	
安全装置	立消え安全装置(熱電対)・過熱防止装置(ハイリミット)・ファン風圧感知安全装置(風圧スイッチ)・電源ヒューズ・漏電遮断器・COセンサー		
付属品	取扱説明書・設置・工事説明書・保証書・お問い合わせ先一覧表		

ガスの種類	1時間当りのガス消費量 kW	沸き上がり時間 (水温15℃)		ガス接続	
		最大			
都市ガス	13A	5.58 { 4,800kcal/h }	約2時間25分	約3時間30分	15A(Rc1/2)